

はじめに

【本書の見方】

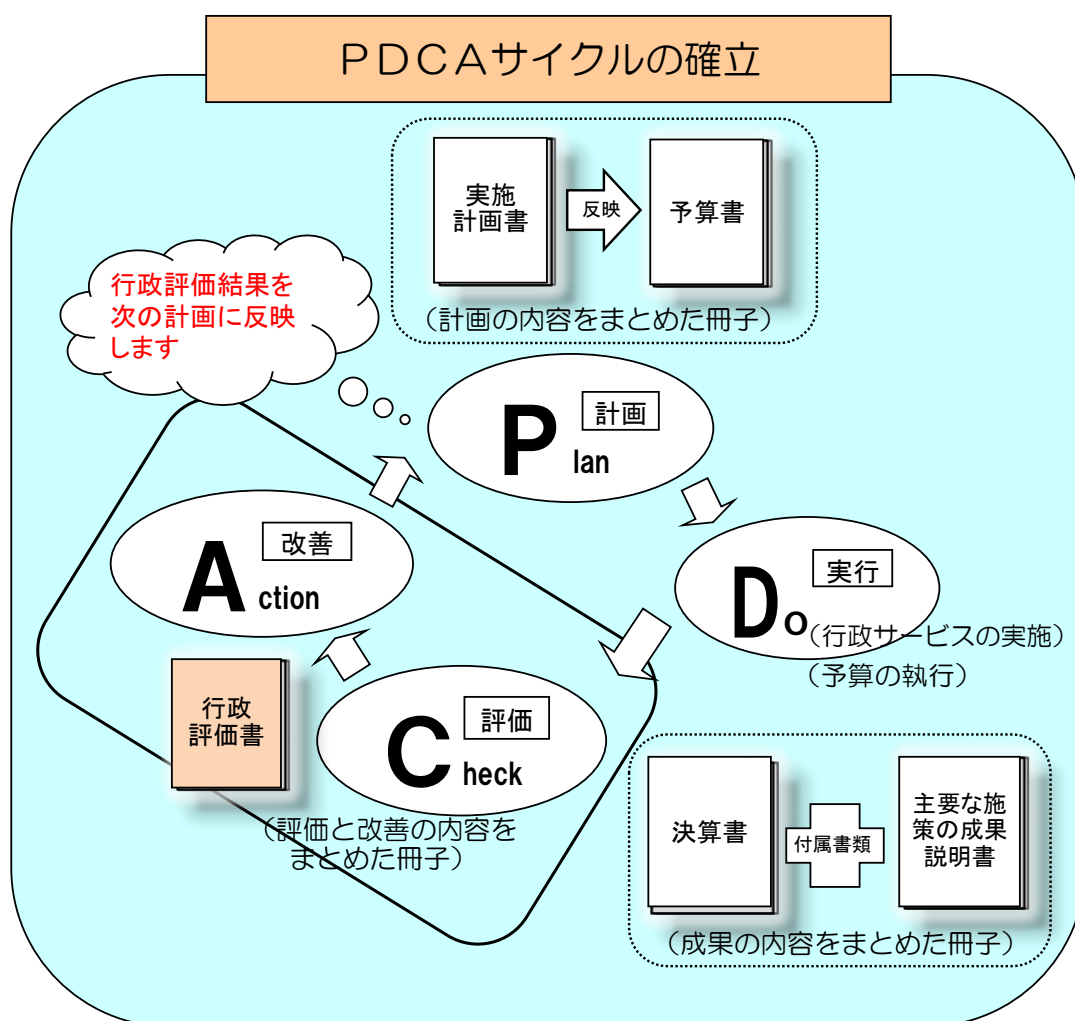
本書（行政評価書）は、第6次日高市総合計画に基づいて掲載しています。

【行政評価制度導入の経緯】

「行政評価」とは、市が行う「行政サービス」を統一的な視点から客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることを目的とした一つの手法です。

『行政評価制度』の導入により、行政が行う「施策」、施策に関連する「事務事業」について、行政サービスの「評価」(Check)を行い、次の行政サービスの向上につなげる「改善」(Action)の方策を導き出します。その改善方策を次の「計画」(Plan)に生かし、より良い行政サービスを「実行」(Do)することでPDCAサイクルを確立することができます。

日高市では、行政サービスの更なる向上と総合計画に基づく計画的な行財政運営を推進するため、平成24年度（平成23年度に実施した行政サービスを対象）から行政評価制度を導入しました。



【行政評価の流れ】

行政評価は次の区分により行います。

①事務事業評価

市が実施した「事務事業」の成果を基に、評価すべき事項（良かった点、成果を上げた点など）、改善すべき事項（問題点、課題点、解決方策など）を明らかにするため、事務事業担当課（所）が事務事業評価を行います。

評価に当たっては、4つの区分・14項目の評価視点で3段階評価（点数化）を行い、その総合点に基づきA・B・Cのランクを付けるとともに、これらを踏まえ総合的視点から事務事業の評価を行います。

なお、事務事業評価内容については、全ての事務事業のうち、第6次日高市総合計画の各施策に関連する事務事業について、「施策の展開」ごとにまとめて掲載しています。

【4つの区分・14項目の評価視点】

評価区分	評価視点
①計画的・効率的な行財政運営	1. 適切な事務分担がなされているか
	2. 効率的な組織となっているか
	3. 正規職員が実施する必要があるか
	4. 市が直接実施する必要があるか
②財政基盤の確立・強化	5. 中長期的な視点の検討がなされているか
	6. 目標に対する成果は適切か
	7. 費用対効果が図られているか
	8. 歳入の増加や歳出の削減の余地はないか
③市民と行政の協働	9. 市民との協働が図れているか
	10. 市民が参画できる環境を整えているか
	11. 市民のニーズや声を的確に把握しているか
	12. 適切に市民に情報を提供しているか
④課題への個別対応	13. 安心・安全について配慮をしているか
	14. 環境への負荷を配慮しているか

【4つの区分・14項目の評価視点での3段階評価（点数化）】

評価点	評価基準
3点	適切であり現状維持する（事務事業上考慮する余地がない場合も含む）
2点	おおむね適切であるが部分的な改善を要する
1点	適切とはいえず抜本的な改善を要する

【総合点に基づくA・B・Cランク】

ランク	総合点（42点満点）
A	42点～36点
B	35点～29点
C	28点～14点

②施策評価

「事務事業」の成果及び評価並びに後述する「まちづくり市民アンケート調査」に基づく各指標の実績等を基に、当該施策を主に担当する部長が施策評価責任者として、施策評価を行います。

施策評価では、施策目標・評価指標に対する主な成果と課題及び各施策の展開に対する主な成果と課題を明記します。

③まちづくり市民アンケート調査

事務事業評価による内部評価に対して、外部評価として、「まちづくり市民アンケート調査」（以下「市民アンケート」といいます。）を実施し、前年度の市の事業に対して市民の方から評価をいただきます。

第6次日高市総合計画前期基本計画の26施策のうち、施策10、14、18及び26を除く22施策における達成度を測るための評価指標等については、市民アンケートを元の実績値が算出されます。

《令和5年度まちづくり市民アンケート調査概要》

対象：18歳以上の市民（無作為抽出）

配布数：2,000

調査方法：電子アンケート、紙アンケート

調査時期：令和5年4月13日～5月9日

有効回収数：615

有効回収率：30.8%

○評価が高かった施策（3つ）

施策1「人権・男女共同参画」の評価指標「女性の活躍を多面的に支援する地域だと思う人の割合」が令和元年度の7.5%から15.4%となり、令和7年度までの目標値である10.0%を上回り、達成率が154.4%となりました。その他評価の高かった施策については以下のとおりです。

施策	評価指標	R1現状値	R7目標値	R4実績値	R4達成率
1	女性の活躍を多面的に支援する地域だと思う人の割合	7.5%	10.0%	15.4%	154.0%
15	子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じている人の割合	21.0%	22.5%	25.7%	114.2%
23	自慢したい地域の風景や名所があると感じている人の割合	46.4%	48.0%	53.7%	111.9%

○評価が低かった施策（3つ）

施策21「観光」の評価指標「住んでいる地域に観光などでの訪問客が増えていると感じている人の割合」が令和元年度の29.9%から20.2%となり、令和7年度までの目標値である30.0%を下回り、達成率が67.3%となりました。その他評価の低かった施策については以下のとおりです。

施策	評価指標	R1現状値	R7目標値	R4実績値	R4達成率
21	住んでいる地域に観光などでの訪問客が増えていると感じている人の割合	29.9%	30.0%	20.2%	67.3%
5	老後に不安を感じている人の割合	69.9%	65.0%	66.3%	73.5%
7	普段、できるだけ公共の交通機関を利用している人の割合	33.7%	34.0%	27.3%	80.3%

※市民アンケート結果等に基づいた各施策の評価については「施策評価書」をご覧ください。

○重要度に関する設問について

市民アンケートでは、第6次日高市総合計画前期基本計画に沿って進めている各分野にわたる取組（施策の展開）について、これから重要だと思うものを回答していただきました。

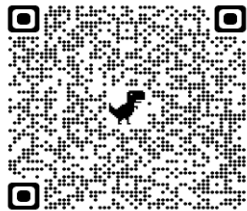
結果として、例えば、「基本方針1 健やかに暮らし互いを認め合い支え合えるまちをつくる」に関連する取組について、全体集計では「地域福祉推進体制の充実」が最も重要という結果が出ている一方で、10代から20代の若年層に絞った集計においては「男女共同参画社会の形成の促進」や「低所得者などに対する支援の充実」が最も重要であるとされています。

○市民アンケート結果の集計について

毎年度、本書の公表と同時に市ホームページで公表することとします。

以下のQRコード又はURLからご覧ください。

＜QRコード＞



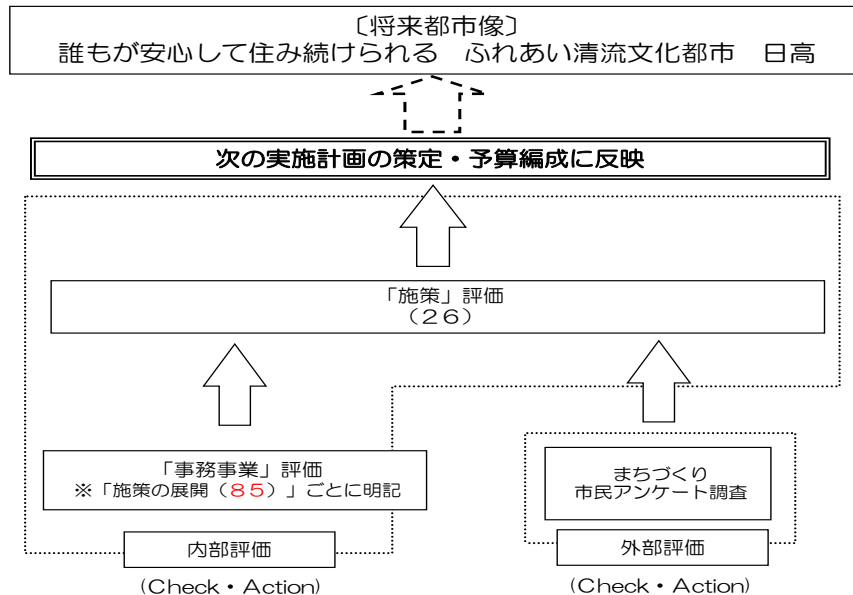
＜URL＞

<https://www.city.hidaka.lg.jp/soshiki/sogoseisaku/seisakuhisho/kikakuchosei/seisakuzaisei/sogokeikaku/dai6jisougoukeikaku/26593.html>

【行政評価の活用】

行政評価から導き出された評価・改善事項は、次の実施計画の策定及び予算編成に反映するとともに、将来都市像実現に向けた行政サービスの改革・改善に生かしていきます。

《行政評価の流れと活用》



【その他特記事項】

- ・ 会計名は、事務事業名欄に下記のとおり記載しています。

一般会計	→	記載なし
国民健康保険特別会計	→	【国保】
後期高齢者医療特別会計	→	【後期】
介護保険特別会計	→	【介護】
武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計	→	【北】
水道事業会計	→	【水道】
下水道事業会計	→	【下水道】
- ・ 事務事業評価の「経費」については、各事務事業における決算額の百の位を四捨五入し千円単位としています。また、施策評価の「施策コスト」における「実績」については、各施策に関連する各事務事業における上述の「経費」（千円単位）を足し合わせたものです。
- ・ ペーパーレス化推進のため、白紙や見出しページを入れずに製本しています。